

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査書

(1) 取組名	おかやまさんさんエネルギー増殖プロジェクト ～地産地消エネルギーによるまちづくり～			
(2) 実施団体名	備前みどりのまほろば協議会	(3) 対象地域	岡山県岡山市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町	
(4) 代表団体名	備前グリーンエネルギー株式会社	(5) 推薦団体名		
(6) 実施した取組の内容	取組①	おかやまさんさんエネルギー導入応援団の結成（地産エネルギー導入促進事業）		
	実施主体	備前グリーンエネルギー株式会社		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		<p>実施内容：(a)省エネ無料診断、設備の無料貸出、設備導入 (b)廃食油回収テスト事業 (c)ポータルサイト運営、ネットワーク構築</p> <p>実施時期：平成20年9月～平成21年1月</p> <p>取組の目的：「見る（診断）」「聞く（ネットワークの構築）」「触る（無料貸出）」「動かす（BDF燃料）」を基本コンセプトとして、多くの市民が温暖化防止活動に関心を持ち、参加できるプラットホームを提供する。</p>	<p>・実施内容：(a)省エネ診断・自然エネ導入提案、木質ストーブの無料貸出 (b)廃食油回収テスト事業 (c)ポータルサイト運営、ネットワーク構築</p> <p>・実施時期：平成20年9月～平成21年3月</p> <p>・実施場所：(a)(b)岡山市、備前市、瀬戸内市、(c)対象地域</p> <p>・取組の結果：(a)事業所に対する省エネ診断（公共施設3件、民間施設7件）、一般家庭に対する自然エネ導入提案（10件）を実施。そのうち、省エネ1件、自然エネ3件が導入の運びとなる。その他の案件についても一定のエネルギー削減余地があるという結果が出た。木質ストーブの無料貸出は予定台数以上の申し込みがあり、関心の高さが伺える。 (b)4市1町において廃食油賦存量調査を実施し、その結果を踏まえて備前市9か所、瀬戸内市2か所、岡山市4か所の計15か所に廃食油回収拠点を設置。回収量は11月400ℓ、12月720ℓと順調に推移した。 (c)ホームページ（www.okayama33.net）を開設。順次コンテンツのブラッシュアップを図った。広報ツール「みんな～！"ビゼコ"してますか？」を制作。4市1町の小学4～6年生（2万5000人）に配布し、活用を呼び掛けた。</p>	
	取組②	地産グリーン電力証書 マーケティング事業（グリーン電力証書普及事業）		
	実施主体	備前グリーンエネルギー株式会社		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		<p>実施内容：(a)地産グリーン電力付き商品開発、試験マーケティング (b)地産グリーン電力証書使用促進キャンペーン</p> <p>実施時期：平成20年9月～平成21年1月</p> <p>取組の目的：地産地消のグリーン電力証書の利用を促進するとともに、グリーン電力商品を開発し、域内経済循環のきっかけをつくる。</p>	<p>実施内容：(a)地域イベントでのグリーン電力の導入、(b)グリーン電力商品の開発</p> <p>実施時期：(a)9月27・28日（総社市「れとろど'08」）、11月30日（岡山県「エコフェスタ2008」）、平成21年1月11日（倉敷市「STOP 温暖化くらしき2009」）(b)平成20年11月～平成21年3月</p> <p>取組の結果：(a)クラブ活動で自然エネ・省エネをテーマとする講座を開催。参加した児童の世帯で、4週間にわたり「家庭でできる10の取組み」を実施。この取組に関するアンケートを実施したところ、「待機電力をカットする」について「今回の取組みで実施したとするものが22%あり、また、子どもから「家族で会話をする機会が増えて楽しかった」との意見もあるなど、家庭部門における省エネについては、まだまだ取組みの余地があることが判明した。 (b)CSRセミナーの参加者（87名）の中からグリーン電力証書を活用した商品の共同開発企業が出現した。</p>	
	取組③	おかやまさんさんエネルギークラブ事業（エネルギー地産地消コミュニティ作り）		
	実施主体	NPO法人おかやまエネルギーの未来を考える会		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	<p>実施内容：(a)おかやまさんさんエネルギークラブの企画運営 (b)フェア、コンテストの開催</p> <p>実施時期：平成20年9月～平成21年2月</p> <p>取組の目的：自然エネルギー導入拠点で、省エネ・自然エネルギー活用講座を開催し、家庭を対象にCO2削減の機運を高める。</p>	<p>実施内容：(a)クラブ講座の開催、(b)フェア・セミナーの開催</p> <p>実施時期：(a)平成20年10月～12月、(b)10月24日（CSRセミナー）、2月11日（「STOP！ 温暖化 おかやま」<予定>）</p> <p>実施場所：(a)伊里小学校（備前市）、竹枝小学校（岡山市）、第二藤田小学校（岡山市）(b)岡山市内</p> <p>取組の結果：(a)クラブ活動で自然エネ・省エネをテーマとする講座を開催。参加した児童の世帯で、4週間にわたり「家庭でできる10の取組み」を実施。この取組に関するアンケートを実施したところ、「待機電力をカットする」について「今回の取組みで実施したとするものが22%あり、また、子どもから「家族で会話をする機会が増えて楽しかった」との意見もあるなど、家庭部門における省エネについては、まだまだ取組みの余地があることが判明した。 (b)CSRセミナーの参加者（87名）の中からグリーン電力証書を活用した商品の共同開発企業が出現した。</p>		
取組④	おかやまさんさんエネルギー地産地消アドバイザー育成事業			
実施主体	NPO法人おかやまエネルギーの未来を考える会			
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	<p>実施内容：アドバイザー育成講座の実施</p> <p>実施時期：平成20年9月～平成21年1月</p> <p>取組の目的：民間住宅・小規模事業所におけるエネルギー負荷分析と代替省エネ・自然エネ機器の導入提案ができる人材を育成し、主体的に地産エネルギーを評価し活用する市民層を、持続的に増やす仕組みを作り出す。</p>	<p>実施内容：アドバイザー育成事業の企画・開催</p> <p>実施時期：平成20年12月13日、平成21年1月10日、平成21年1月24日</p> <p>取組みの結果：講座内容は以下の通り。 1回目（ワークショップ）：地球温暖化、省エネ・自然エネルギーの基礎知識の習得、簡易版省エネ診断シートの作成 2回目（フィールドワーク）：自宅、知人宅、公民館等での省エネ診断の実施、リニューアルした店舗の視察 3回目（まとめ）：省エネ診断の結果報告会の開催、省エネ診断シートの見直し 各回とも20名前後の参加があった。講座の内容は、座学だけでなくフィールドワークで民間住宅・公民館等におけるエネルギー負荷分析等を実施し、受講生からは好評であった。今後も、実践提案できる人材を育成する必要性を感じた。</p>		

	平成20年度の取組実施における体制・役割分担	取組の実施を踏まえた反省点											
(7)実施体制	<p>・備前みどりのまほろば協議会：以下の団体で構成され、構成員がそれぞれの役割を分担。</p> <p>・備前グリーンエネルギー株式会社(主担当：取組①②) 協議会代表団体。本事業の事務局として、各取組の管理を行う他、関係者間の調整や広報等を担当。民間・事業所に対する自然エネルギー、省エネルギー導入のための診断、グリーン電力証書の商品開発及びマーケティング、情報プラットフォーム作成を担当。</p> <p>・NPO法人おかやまエネルギーの未来を考える会<以下、「エネミラ」>(主担当：取組③④) クラブ事業、アドバイザー育成事業の企画・運営・関係者間の調整</p> <p>・備前市・瀬戸内市・岡山市・赤磐市・和氣町(担当：取組①) 普及啓発活動への協力。啓発パンフレット並びに関連セミナーの広報の協力。</p> <p>・(財)岡山県環境保全事業団(担当：取組③) セミナー、イベント実施時の企画、運営に協力。</p> <p>・地元産業団体(担当：取組①②③) クラブ・イベント・製品作りへの積極的参加。</p>	<p>・取組①：省エネ診断・自然エネ導入提案では、相談件数が50件、診断・提案件数が10件にとどまったが、これは実施主体が民間会社であったことに起因したとも考えられ、本協議会の関係者を通じて、改めて新たなネットワークを見出すことが必要であると感じた。なお、廃食油回収テスト事業の課題であったBDFの精製とその利用については、㈱タックが協議会に参画して利用実験をスタートした。また、廃食油の提供については備前市からの協力体制を築くことができた。</p> <p>・取組②：岡山県、総社市、並びに倉敷市で企画されたイベントでは、積極的な働き掛けを行いグリーン電力証書を活用することになった。商品開発においては、取組③で企画したセミナーに参加した企業とともに、自社で使用するヘルメットをグリーン電力証書を活用した商品を開発した。それら商品の開発並びに広報マーケティングの企画等に関しては、環境エネルギー政策研究所の協力があり、開発等を進めることができた。現在いくつか商談中の企画があるものの、商品開発には至っておらず、なお一層の商品開発の呼び掛けが必要と思われる。今後の展開において、地元産業団体を通じて、セミナーを活用しながら参加する企業を増やしていく必要がある。</p> <p>・取組③：クラブ講座事業は、備前市並びに岡山市内の小学校において、自然エネ・省エネルギーに関する講義を実施し、その後、4週間にわたり各世帯で省エネ活動を実施した。備前市内の小学校は、「吉永・水と森と里山の会」、「東備子どもNPO」、「備前市」、「備前グリーンエネルギー(株)」、「㈱タック」が担当した。事業開始時期の問題で、当初予定していた「スロー&エコライフ」の企画を十分組み込むことができなかった。さらに、今回の対象者が小学生であったこともあり、大人向けのセミナーを企画していくことも課題となった。</p> <p>・取組④：アドバイザー育成事業の講義内容については、(有)ひのでエコライフ研究所に依頼し、備前グリーンエネルギーが一部サポートする形で運営がなされた。エネミラは、広報企画・地域内調整を主に担当した。受講生には家庭における省エネ診断を実施することを課題としており、受講生へのフォローアップ並びに運営管理において今後一層の充実を図る必要があると考える。</p>											
(8)取組により得られた成果	<p>○成果1→ 取組の進んでいない、家庭を中心とした民生部門での自然エネルギー・特に地産エネルギーの利活用に対して、魅力と意義を普及するためのプラットフォームを立上げる。</p> <table border="1" data-bbox="271 580 999 635"> <tr> <td data-bbox="271 580 864 600">H19</td> <td data-bbox="864 580 999 600">H20(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 608 864 627">事業所を中心に事業展開をしており、家庭の診断件数は5件</td> <td data-bbox="864 608 999 627">地産エネルギー設備導入の相談 50件以上</td> </tr> </table> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <p>・対象地域における市民・事業者を対象に、木質ストーブの無料貸し出し、廃食油回収事業(取組①)、クラブ事業、省エネモニターの設置(取組④)等を実施し、対象者が参加しやすい取り組みを展開した。</p> <p>・ホームページの開設、普及啓発ツールを作成・配布してより多くの市民に本事業のアピールを実施した。</p> <p>・これらによって、省エネ診断(民間施設7件、公共施設3件)、自然エネ導入提案(10件)を実施したほか、約50件の相談を受け付け、当初目標をクリアした。</p> <p>・上記の省エネ診断の提案をきっかけに、「中小企業に対するCO2排出削減量認証・補助事業(NEDO)」に応募し、採択が決定(1件)。</p> <p>・上記の自然エネ導入提案をきっかけに、木質ストーブの導入が3台決定。内2台は、地域協議会民生用機器導入促進事業(環境省)を活用した。</p> <p>○成果2→ 取組の始まっていない、地産グリーン電力証書(地産自然エネルギーの環境価値証書)の域内利用と、地場産業振興の新しい切り口を作り出す。</p> <table border="1" data-bbox="271 820 999 874"> <tr> <td data-bbox="271 820 864 839">H19</td> <td data-bbox="864 820 999 839">H20(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 847 864 866">取組は始まっていない</td> <td data-bbox="864 847 999 866">地産グリーン電力証書付き商品開発 5点以上</td> </tr> </table> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <p>・総社市イベント(1000kWh)、岡山県環境イベント(2000kWh)、倉敷市環境イベント(1000kWh)において、グリーン電力証書を活用し、イベントのグリーン化に取り組むことができた。</p> <p>・事業者(DOWA IP クリエイション)、メーカー(ミドリ安全岡山)と3社で地産グリーン電力証書を活用した商品を開発し、グリーン電力証書を活用した安全ヘルメット(150個)を商品化。岡山市内の工場での利用が決定。さらに、同事業者の事務所の電気をグリーン電力証書を活用することを同時検討。上記商品並びに事務所の年間消費量の6%分(4000kWh)についてグリーン電力証書を活用することになった。</p> <p>・地産グリーン電力証書として、計4件、電力量で8000kWhを活用することになった。</p> <p>・現在商談中の案件もあり、今後も商品開発を継続していく予定である。</p> <p>○成果3→ 主体的に地産エネルギーを評価し活用する市民層を、持続的に増やす仕組みを作り出す。</p> <table border="1" data-bbox="271 1053 999 1107"> <tr> <td data-bbox="271 1053 864 1072">H19</td> <td data-bbox="864 1053 999 1072">H20(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 1080 864 1099">備前みどりのまほろば協議会・エネミラのボランティア計10人</td> <td data-bbox="864 1080 999 1099">150世帯のクラブ・コンテストへの参加、アドバイザー育成20人</td> </tr> </table> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <p>・伊里小学校(備前市)、竹枝小学校(岡山市)、第二藤田小学校(岡山市)において、クラブ事業を開催し、児童、保護者、教員合わせて約140世帯が参加した。</p> <p>・各世帯で、4週間「家庭でできる10の取組み」を実施し、参加世帯で平均約2000円の節約、CO2換算で35kgの削減を確認した。</p> <p>・各世帯の希望者並びに関係者は、省エネナビの設置を行い、エネルギーの見える化にも挑戦した。</p> <p>・アドバイザー育成事業には、毎回約20名の受講生が参加。うち10名に修了証書を交付した。</p>	H19	H20(当初予定していた目標)	事業所を中心に事業展開をしており、家庭の診断件数は5件	地産エネルギー設備導入の相談 50件以上	H19	H20(当初予定していた目標)	取組は始まっていない	地産グリーン電力証書付き商品開発 5点以上	H19	H20(当初予定していた目標)	備前みどりのまほろば協議会・エネミラのボランティア計10人	150世帯のクラブ・コンテストへの参加、アドバイザー育成20人
H19	H20(当初予定していた目標)												
事業所を中心に事業展開をしており、家庭の診断件数は5件	地産エネルギー設備導入の相談 50件以上												
H19	H20(当初予定していた目標)												
取組は始まっていない	地産グリーン電力証書付き商品開発 5点以上												
H19	H20(当初予定していた目標)												
備前みどりのまほろば協議会・エネミラのボランティア計10人	150世帯のクラブ・コンテストへの参加、アドバイザー育成20人												

<p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭における省エネ診断・自然エネ導入提案について、クラブ講座事業で呼びかけて5件の申し込みがあったが、新聞等ではアピールの効果は得られなかった。今後は、申込者に何らかのインセンティブを与えるような方策や実施主体の窓口等を検討する必要がある。 ・省エネ診断・自然エネ導入提案にあたっては、取組④のアドバイザー育成事業を活用しながら受講生や受講修了生を中心に、再度、家庭における省エネ診断を実施してみる必要がある。 ・廃食油回収テスト事業では、備前市内各地域での回収インフラの準備は整ったものの、周辺地域(和気町、瀬戸内市、赤磐市)を巻き込んだ展開となっていない。各家庭からの回収方法について再度検討し、積極的に展開していく必要がある。 ・さらに精製したBDFは特定の一企業でしか使用されていないため、行政並びに他の民間企業でも利用できるように取り組む必要がある。 ・ポータルサイト運営及びネットワークの構築においてホームページと啓発リーフレットとの相乗効果が発揮されていない。各種メディアからホームページへ導き、本事業における宣誓文に賛同する市民を増やしていくような取組(会員化)の検討を進める必要がある。 ・グリーン電力商品の開発にあたっては、企業に対する個別アプローチのほか、セミナー等を活用したアプローチが効果的と思われる。今後は、財団、地元産業団体等を対象に積極的にセミナーを開催し、商品開発につなげていく必要がある。 ・また、地産地消のグリーン電力証書を提唱していく上で、岡山県内を対象とするブランド(「おかやまグリーン証書(仮称)」)の立上がポイントであり、これについて検討していく必要がある。 ・クラブ講座事業については、岡山市、備前市に加えて、瀬戸内市、赤磐市、和気町でも実施していく必要がある。また、クラブ事業の対象者を小学生から大人、家族向けにした企画も展開していく必要がある。 ・企業向け、一般市民向けの「省エネ・自然エネルギー」のセミナーを企画したが、「スロー&エコライフ」関係の企画が十分でなかったことから、次年度は専門家を招き実施につなげる必要がある。 ・アドバイザー育成事業においては、今回の企画をベースに、地球温暖化防止活動推進員等の環境支持層に参加を呼び掛け、さらに人材育成を推進していく必要がある。 										
<p>(10)平成21年度以降の活動の見込み</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="271 432 864 456">当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</th> <th data-bbox="864 432 2121 456">今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="271 456 864 624"> <p>1. 独立行政法人を目指すための基盤づくりの強化(H21~H23年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度計画の確定、実施機関との調整 ・普及啓発事業の独立法人化 </td> <td data-bbox="864 456 2121 624"> <p>1. グリーン電力事業を推進するための基盤づくりの強化(H21~H23年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:備前みどりのまほろば協議会と岡山県環境保全事業団の連携による ・備前みどりのまほろば協議会の代表団体である備前グリーンエネルギーは、グリーン電力事業を展開するノウハウとネットワークを持ち、また(財)岡山県環境保全事業団は「住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金制度(経済産業省)」の窓口として活躍している。 ・双方の事業ドメインを発展させるために、下記制度を活用し、検討会を立ち上げ、事業を開始する。 <p>【活用を希望する制度:環境省 地域におけるグリーン電力証書需要創出モデル事業】</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 624 864 975"> <p>2. 家庭、事業所向け普及啓発事業の拡大実施、啓発インフラの拡充(H21年度)</p> </td> <td data-bbox="864 624 2121 975"> <p>2. 家庭、事業所向け普及啓発事業の拡大実施、啓発インフラの拡充(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:①備前みどりのまほろば協議会 ②備前グリーンエネルギー(株) ③(株)タック ④岡山県環境保全事業団 ⑤エネミラ ・廃食油回収テスト事業では、対象となる回収資源に生ゴミや電子機器等を加え、新たなリサイクルの可能性について検討する。〈資源ゴミ回収テスト事業〉 ・行政に働き掛けて、個人が廃食油回収テスト事業に参画できるようなシステムとする。〈資源ゴミ回収テスト事業〉 ・廃食油から精製されたBDFを地域内で利用する仕組みに取り組む。〈資源ゴミ回収テスト事業〉 ・「クラブ事業」「アドバイザー育成事業」「省エネ・自然エネ導入提案事業」を統合し、上記(9)の反省点、改善点を踏まえながら、「環境で傍楽(はたらく)支援システム事業(仮称)」を計画する。以下、概要を示す。 1)省エネ診断・自然エネの導入を希望する家庭並びに小規模事業所からの応募は、ポータルサイト又は事務局窓口で受け付ける。 2)アドバイザー育成事業の受講生(修了生)による「おかやまエネルギー見守り隊(仮称)」を結成する。 3)上記「見守り隊」のメンバーが、2名以上で省エネ・自然エネの導入を希望する家庭並び小規模事業所を訪問し、省エネ・自然エネ導入提案を実施していく。 4)提案内容を事業実施する場合、本事業に賛同している事業者を複数紹介の上、実際の設備導入を検討してもらう。 5)見守り隊のメンバーは、定期的に実施するアドバイザー育成事業に参加し、資格獲得やさらなるスキルアップに挑戦する。 6)本システム事業では、クラブ事業や下記3のセミナー等のスタッフも募集し、環境事業に携わるきっかけとなる場も提供する。 <p>【活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額700万円)】</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 975 864 1150"> <p>3. おかやまさんエネルギー推進ネットワークの拡大(H21年度)</p> </td> <td data-bbox="864 975 2121 1150"> <p>3. おかやまさんエネルギー推進ネットワークの拡充(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:①備前グリーンエネルギー(株)②岡山県環境保全事業団 ・上記2の「環境で傍楽(はたらく)支援システム事業」等のWEBサイトのリニューアルを図るとともに、会員化の検討を実施し、定期的にメールマガジンの発行を計画。 ・ポータルサイト運営、ネットワークの構築 ・エネルギー問題、地産地消、グリーン電力(カーボンオフセット)などのテーマとしたセミナーをシリーズで開催し、多くの方々に参加できるように計画。〈フェア・セミナーの開催〉 <p>【活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額300万円)】</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 1150 864 1302"> <p>4. 対象自治体のエネルギー地産地消推進施策の実現支援(調査提言)(H21年度)</p> </td> <td data-bbox="864 1150 2121 1302"> <p>4. 対象自治体のエネルギー地産地消推進施策の実現支援(調査提言)(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:備前グリーンエネルギー(株) ・エネルギービジョン策定を実施していない行政へ実施の働きかけを行う。 ・上記1の状況を見ながら、関連補助事業への応募について検討する。 <p>【活用を希望する制度:環境省「太陽光発電等再生可能エネルギー活用推進事業」】</p> </td> </tr> </tbody> </table>	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度	<p>1. 独立行政法人を目指すための基盤づくりの強化(H21~H23年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度計画の確定、実施機関との調整 ・普及啓発事業の独立法人化 	<p>1. グリーン電力事業を推進するための基盤づくりの強化(H21~H23年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:備前みどりのまほろば協議会と岡山県環境保全事業団の連携による ・備前みどりのまほろば協議会の代表団体である備前グリーンエネルギーは、グリーン電力事業を展開するノウハウとネットワークを持ち、また(財)岡山県環境保全事業団は「住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金制度(経済産業省)」の窓口として活躍している。 ・双方の事業ドメインを発展させるために、下記制度を活用し、検討会を立ち上げ、事業を開始する。 <p>【活用を希望する制度:環境省 地域におけるグリーン電力証書需要創出モデル事業】</p>	<p>2. 家庭、事業所向け普及啓発事業の拡大実施、啓発インフラの拡充(H21年度)</p>	<p>2. 家庭、事業所向け普及啓発事業の拡大実施、啓発インフラの拡充(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:①備前みどりのまほろば協議会 ②備前グリーンエネルギー(株) ③(株)タック ④岡山県環境保全事業団 ⑤エネミラ ・廃食油回収テスト事業では、対象となる回収資源に生ゴミや電子機器等を加え、新たなリサイクルの可能性について検討する。〈資源ゴミ回収テスト事業〉 ・行政に働き掛けて、個人が廃食油回収テスト事業に参画できるようなシステムとする。〈資源ゴミ回収テスト事業〉 ・廃食油から精製されたBDFを地域内で利用する仕組みに取り組む。〈資源ゴミ回収テスト事業〉 ・「クラブ事業」「アドバイザー育成事業」「省エネ・自然エネ導入提案事業」を統合し、上記(9)の反省点、改善点を踏まえながら、「環境で傍楽(はたらく)支援システム事業(仮称)」を計画する。以下、概要を示す。 1)省エネ診断・自然エネの導入を希望する家庭並びに小規模事業所からの応募は、ポータルサイト又は事務局窓口で受け付ける。 2)アドバイザー育成事業の受講生(修了生)による「おかやまエネルギー見守り隊(仮称)」を結成する。 3)上記「見守り隊」のメンバーが、2名以上で省エネ・自然エネの導入を希望する家庭並び小規模事業所を訪問し、省エネ・自然エネ導入提案を実施していく。 4)提案内容を事業実施する場合、本事業に賛同している事業者を複数紹介の上、実際の設備導入を検討してもらう。 5)見守り隊のメンバーは、定期的に実施するアドバイザー育成事業に参加し、資格獲得やさらなるスキルアップに挑戦する。 6)本システム事業では、クラブ事業や下記3のセミナー等のスタッフも募集し、環境事業に携わるきっかけとなる場も提供する。 <p>【活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額700万円)】</p>	<p>3. おかやまさんエネルギー推進ネットワークの拡大(H21年度)</p>	<p>3. おかやまさんエネルギー推進ネットワークの拡充(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:①備前グリーンエネルギー(株)②岡山県環境保全事業団 ・上記2の「環境で傍楽(はたらく)支援システム事業」等のWEBサイトのリニューアルを図るとともに、会員化の検討を実施し、定期的にメールマガジンの発行を計画。 ・ポータルサイト運営、ネットワークの構築 ・エネルギー問題、地産地消、グリーン電力(カーボンオフセット)などのテーマとしたセミナーをシリーズで開催し、多くの方々に参加できるように計画。〈フェア・セミナーの開催〉 <p>【活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額300万円)】</p>	<p>4. 対象自治体のエネルギー地産地消推進施策の実現支援(調査提言)(H21年度)</p>	<p>4. 対象自治体のエネルギー地産地消推進施策の実現支援(調査提言)(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:備前グリーンエネルギー(株) ・エネルギービジョン策定を実施していない行政へ実施の働きかけを行う。 ・上記1の状況を見ながら、関連補助事業への応募について検討する。 <p>【活用を希望する制度:環境省「太陽光発電等再生可能エネルギー活用推進事業」】</p>
当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度										
<p>1. 独立行政法人を目指すための基盤づくりの強化(H21~H23年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度計画の確定、実施機関との調整 ・普及啓発事業の独立法人化 	<p>1. グリーン電力事業を推進するための基盤づくりの強化(H21~H23年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:備前みどりのまほろば協議会と岡山県環境保全事業団の連携による ・備前みどりのまほろば協議会の代表団体である備前グリーンエネルギーは、グリーン電力事業を展開するノウハウとネットワークを持ち、また(財)岡山県環境保全事業団は「住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金制度(経済産業省)」の窓口として活躍している。 ・双方の事業ドメインを発展させるために、下記制度を活用し、検討会を立ち上げ、事業を開始する。 <p>【活用を希望する制度:環境省 地域におけるグリーン電力証書需要創出モデル事業】</p>										
<p>2. 家庭、事業所向け普及啓発事業の拡大実施、啓発インフラの拡充(H21年度)</p>	<p>2. 家庭、事業所向け普及啓発事業の拡大実施、啓発インフラの拡充(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:①備前みどりのまほろば協議会 ②備前グリーンエネルギー(株) ③(株)タック ④岡山県環境保全事業団 ⑤エネミラ ・廃食油回収テスト事業では、対象となる回収資源に生ゴミや電子機器等を加え、新たなリサイクルの可能性について検討する。〈資源ゴミ回収テスト事業〉 ・行政に働き掛けて、個人が廃食油回収テスト事業に参画できるようなシステムとする。〈資源ゴミ回収テスト事業〉 ・廃食油から精製されたBDFを地域内で利用する仕組みに取り組む。〈資源ゴミ回収テスト事業〉 ・「クラブ事業」「アドバイザー育成事業」「省エネ・自然エネ導入提案事業」を統合し、上記(9)の反省点、改善点を踏まえながら、「環境で傍楽(はたらく)支援システム事業(仮称)」を計画する。以下、概要を示す。 1)省エネ診断・自然エネの導入を希望する家庭並びに小規模事業所からの応募は、ポータルサイト又は事務局窓口で受け付ける。 2)アドバイザー育成事業の受講生(修了生)による「おかやまエネルギー見守り隊(仮称)」を結成する。 3)上記「見守り隊」のメンバーが、2名以上で省エネ・自然エネの導入を希望する家庭並び小規模事業所を訪問し、省エネ・自然エネ導入提案を実施していく。 4)提案内容を事業実施する場合、本事業に賛同している事業者を複数紹介の上、実際の設備導入を検討してもらう。 5)見守り隊のメンバーは、定期的に実施するアドバイザー育成事業に参加し、資格獲得やさらなるスキルアップに挑戦する。 6)本システム事業では、クラブ事業や下記3のセミナー等のスタッフも募集し、環境事業に携わるきっかけとなる場も提供する。 <p>【活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額700万円)】</p>										
<p>3. おかやまさんエネルギー推進ネットワークの拡大(H21年度)</p>	<p>3. おかやまさんエネルギー推進ネットワークの拡充(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:①備前グリーンエネルギー(株)②岡山県環境保全事業団 ・上記2の「環境で傍楽(はたらく)支援システム事業」等のWEBサイトのリニューアルを図るとともに、会員化の検討を実施し、定期的にメールマガジンの発行を計画。 ・ポータルサイト運営、ネットワークの構築 ・エネルギー問題、地産地消、グリーン電力(カーボンオフセット)などのテーマとしたセミナーをシリーズで開催し、多くの方々に参加できるように計画。〈フェア・セミナーの開催〉 <p>【活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額300万円)】</p>										
<p>4. 対象自治体のエネルギー地産地消推進施策の実現支援(調査提言)(H21年度)</p>	<p>4. 対象自治体のエネルギー地産地消推進施策の実現支援(調査提言)(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:備前グリーンエネルギー(株) ・エネルギービジョン策定を実施していない行政へ実施の働きかけを行う。 ・上記1の状況を見ながら、関連補助事業への応募について検討する。 <p>【活用を希望する制度:環境省「太陽光発電等再生可能エネルギー活用推進事業」】</p>										

おかやまさんさんエネルギー増殖プロジェクト

(岡山県備前市、岡山市、瀬戸内市、赤磐市、和気町) — 備前みどりのまほろば協議会 —

平成20年度 地方の元気再生事業
事業実施調査 参考資料

◆主な実施取組の内容◆

実施取組内容・結果

①地産エネルギー導入促進事業

民間・公共施設・家屋における省エネ診断・自然エネ導入提案を実施。ペレットストーブ無料貸し出しは5台設置。廃食用油回収テスト事業では、回収拠点が順次拡大。WEBサイト、リーフレットによる普及啓発活動を開始。

②グリーン電力証書普及事業

岡山県主催イベント「エコフェスタおかやま2008」で活用され、環境イベントでの活用の機運が高まった。民間企業ではグリーン電力を活用した商品も完成！

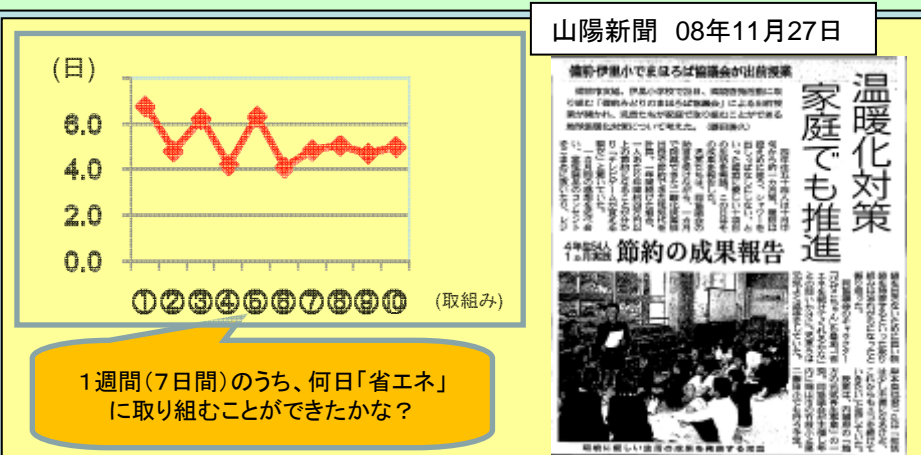
実施取組内容・結果

③地産地消コミュニティづくり事業

約140世帯を対象に4週間にわたり、省エネ活動として「家庭でできる10の取組み」を実施。各世帯、平均2,000円、CO2で35kgの削減を確認。

④アドバイザー育成事業

民間住宅・公民館等におけるエネルギー診断を実施できる人材を育成する講座を開催。毎回、約20名の受講生が参加。



◆取組実施による成果・今後の展開◆

1. 廃食用油の回収、BDF(地産エネルギー)への転用に成功。今後は、同様に各家庭から出てくる生ゴミや電子機器等の資源回収に着目し、さらに無駄なエネルギーを削減してエネルギーを有効利用することにつながるような増殖事業を検討していく。
2. グリーン電力(環境価値)の活用を推進するため、事業を「おかやまさんさんエネルギー」のブランド作りにフォーカスする。
3. エネルギーアドバイザーの育成及び有効活用策についても、さらに人材のUターン、Iターン登用につなげるように事業展開する。